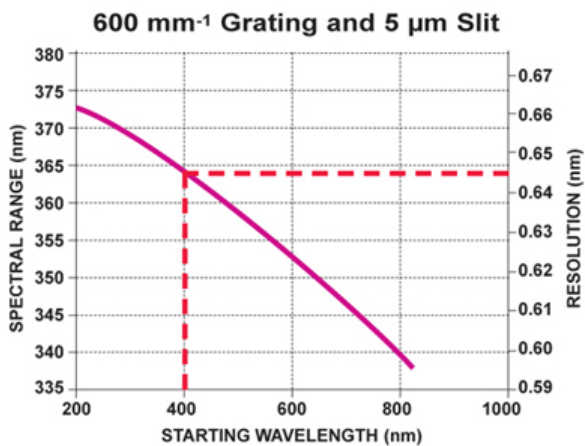


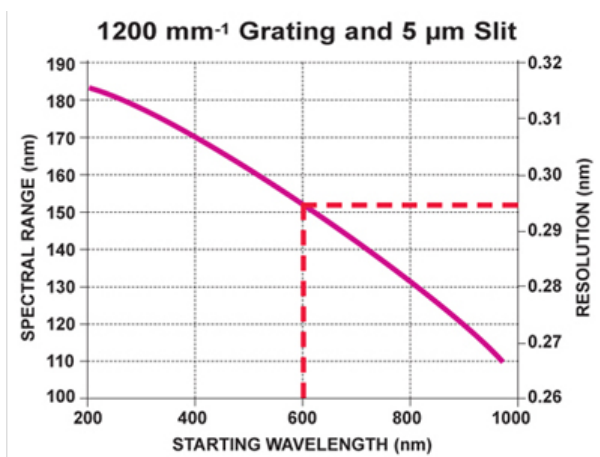
技術資料

測定可能波長範囲および波長分解能 (QE65 Pro/QE Pro)

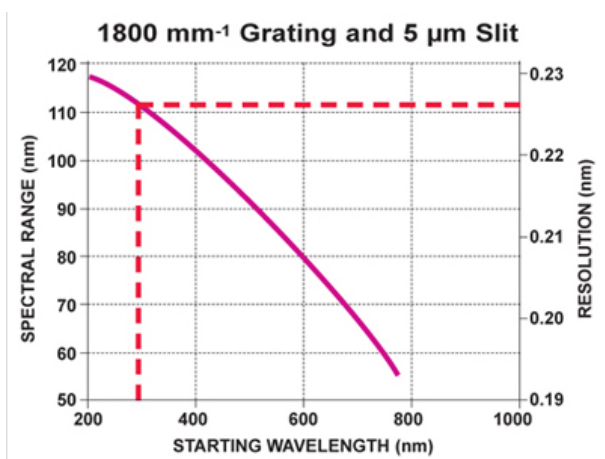
以下のグラフは、5 μm 入射スリットと各種グレーティングの組み合わせによる QE65 Pro 分光器の測定可能波長範囲と波長分解能を示しています。



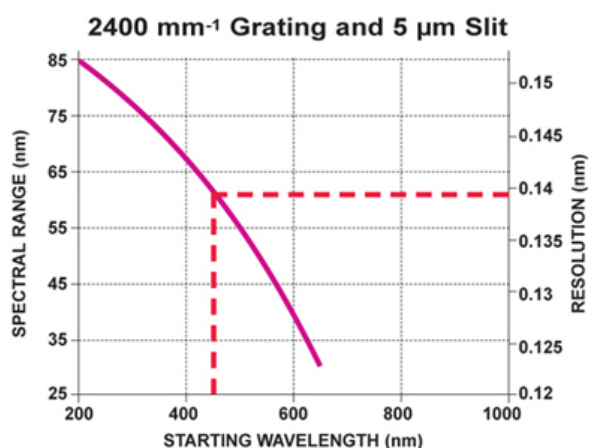
例: 設定開始波長が 400 nm のとき、波長範囲は~364 nm (400 – 764 nm) となり、波長分解能は 0.645 nm となります。
刻線数 600 Lines/mm のグレーティング; 1、2、3、4、14 が対象となります。



例: 設定開始波長が 600 nm のとき、波長範囲は~152 nm (600 – 752 nm) となり、波長分解能は 0.295 nm となります。
刻線数 1200 Lines/mm のグレーティング; 5、6、9 が対象となります。



例：設定開始波長が 300 nm のとき、波長範囲は～112 nm (300 - 412 nm) となり、波長分解能は 0.226 nm となります。
刻線数 1800 Lines/mm のグレーティング；10、11 が対象となります。



例：設定開始波長が 450 nm のとき、波長範囲は～62 nm (450 - 512 nm) となり、波長分解能は 0.139 nm となります。
刻線数 2400 Lines/mm のグレーティング；7、12 が対象となります。